

定國古屋敷

六ッ美村誌には次のように記載されている。「渡邊忠右衛門、山本四郎兵衛、當四郎兵衛は永井村領知せらるる由」

定國古屋敷については確認できなかった。

[渡邊重綱（1574～1648）]

渡邊重綱（わたなべ しげつな）は、安土桃山時代から江戸時代前期にかけての武将。尾張藩重臣、渡邊半蔵家第2当主。父は渡邊守綱。母は平岩親重の娘（平岩主計頭親吉妹）。正室は紀伊和歌山藩重臣水野左近大夫正重の娘。子は渡邊小半蔵勝綱、渡邊忠蔵仲綱、旗本渡辺忠七郎忠綱、尾張藩家老渡邊飛騨守治綱、初代武蔵野本藩藩主渡邊丹後守吉綱、江戸南町奉行及び大目付を務めた旗本渡邊大隅守綱貞（三綱）、尾張藩重臣渡邊藤蔵長綱、石川伊賀守正光妻、松平三左衛門妻、稲葉右近正通妻。通称半蔵、忠右衛門（渡辺忠右衛門重綱）。

1574（天正2）年三河国に生まれる。1588（天正16）年に徳川家康に出仕、小田原征伐、関ヶ原の戦いに出陣。1610（慶長15）年父の守綱と共に家康の9男義直に付属せられ、大坂冬夏両陣では先鋒を務めた。

本項は以下の資料から引用した。

[六ッ美村誌]

編者： 六ッ美村是調査会
発行： 六ッ美村是調査会
発行日：1926（大正15）年12月1日
発行所：日新堂書店
印刷所：活版印刷所